

科目名	地震防災計画学 Earthquake Disaster Reduction Planning	科目コード	A3200
-----	--	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学専攻・2年（プログラム4年）
担当教員	塩野 計司（環境都市工学科）
区分・単位数	選択・2単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30，演習0，実験0，その他0】
教科書	なし
補助教材	自作配布物
参考書	なし

【A．科目の概要と関連性】

地震災害を主な対象として，自然災害とは「どのようなもの」なのかを理解し，自然災害を防止・軽減するために「どのようなこと」をすればよいのかを考えます．

に関しては，施設面の問題に加え，人的・社会的な側面についても学習します．

に関しては，一般的な理念や構成のほか，最近の災害を例として，実際におこなわれた事からについても学習します．

関連する科目： なし

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(C)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
自然災害の種類，原因，発生過程，態様，社会的な影響について理解する．	50%	(C1)
自然災害に対処するための科学的・社会的な方法について理解する．	50%	(C3)

【C．履修上の注意】

受講者は，各回の授業から1週間以内（次の授業の始まり）に，授業の内容を整理したレポートを提出してください．各回のレポートはA4版の用紙で1ページ以内とします．期限内に提出されたレポートには検印を押し，試験での持ち込み資料とすることを許可します．

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

定期試験（100%） その他の試験（0%） レポート（0%） その他（0%）

【E．授業計画・内容】

前期（ 後期科目の場合は，書きかえ）

回	内容	課題
1	導入（さまざまな事例と災害学・防災学の基礎概念）	講義内容を要約したレポートの作成
2	自然災害の態様（1：人的被害）	講義内容を要約したレポートの作成
3	自然災害の態様（2：物的被害）	講義内容を要約したレポートの作成
4	自然災害の態様（3：社会的影響）	講義内容を要約したレポートの作成
5	自然災害と災害対策の歴史（1）	講義内容を要約したレポートの作成
6	自然災害と災害対策の歴史（2）	講義内容を要約したレポートの作成
7	災害対策の法律（1：全体像と災害救助法）	講義内容を要約したレポートの作成
8	災害対策の法律（2：激甚法）	講義内容を要約したレポートの作成
9	災害対策の法律（3：被災者生活再建支援法（1））	講義内容を要約したレポートの作成
10	災害対策の法律（4：被災者生活再建支援法（2））	講義内容を要約したレポートの作成
11	災害対策の法律（5：災害他作基本法とその他の法律）	講義内容を要約したレポートの作成
12	防災計画（1：防災基本計画）	講義内容を要約したレポートの作成
13	防災計画（2：地域防災計画）	講義内容を要約したレポートの作成
14	災害対策の推進力	講義内容を要約したレポートの作成
-	後期末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	